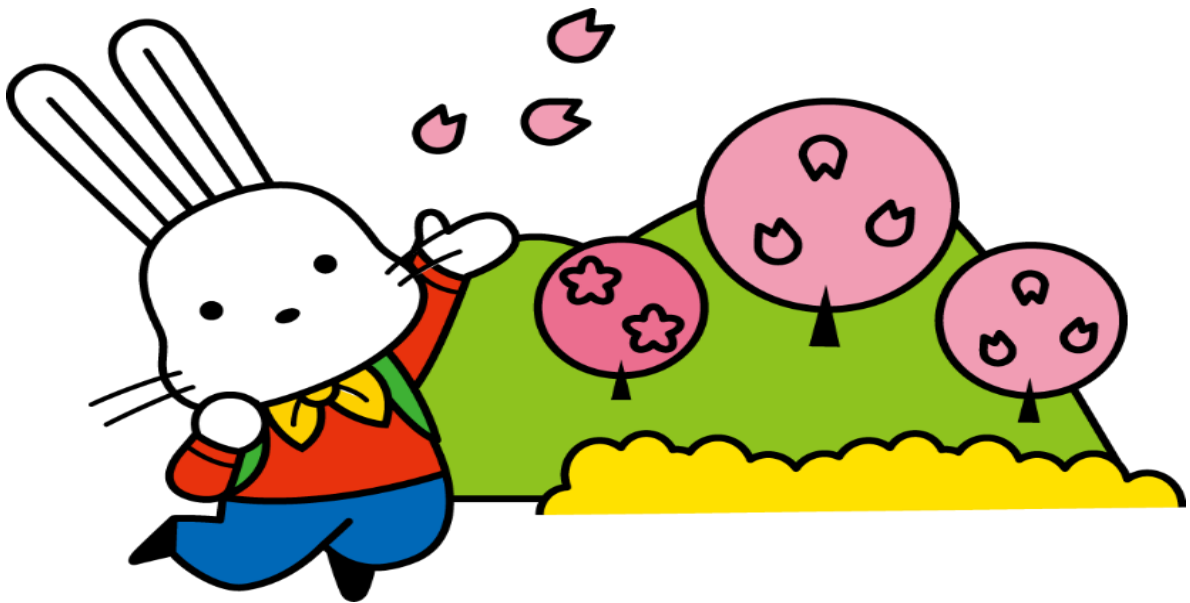


福島市議会の概要

令和3年度



福島市観光キャラクター ももりん

福島市議会

もくじ

市 勢

- 福島市の位置・地勢・気象、あゆみ P 1
- 人口、産業別人口、都市宣言 P 2

予 算 関 係

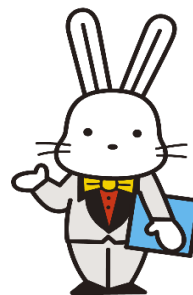
- 令和3年度 各会計別当初予算 P 3
- 令和3年度 一般会計当初予算 P 4～7
- 令和3年度 主要事業の紹介
 - 1. 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現 P 8～11
 - 2. 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進 P 11
 - 3. 災害対策の強化 P 12
 - 4. 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進 P 13～14
 - 5. 豊かな文化芸術の振興と発信 P 15
 - 6. 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築 P 16～17
 - 7. 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現 P 17～18
 - 8. 「福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり」 P 18～19
 - 9. 移住定住に向けた支援・受入態勢の強化 P 20
 - 10. 市民総活躍と市民共創のまちづくり P 20
 - 11. 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上 P 21
 - 12. ICTを活用した行政・経済・社会の変革 P 21

議 会

- 概要
 - 1. 議員数 P 22
 - 2. 構成 P 22
 - 3. 常任委員会 P 22
 - 4. 議会運営委員会 P 23
 - 5. 特別委員会 P 23
 - 6. 地方自治法第100条第12項に基づき設置される協議・調整の場 P 23
 - 7. 予算・決算・補正予算の審査方法 P 23
 - 8. 質疑・質問 P 24
 - 9. 議会開催状況 P 24
 - 10. 報酬 P 24
 - 11. 政務活動費 P 25
 - 12. 行政視察旅費 P 25
 - 13. 費用弁償等 P 25
 - 14. 福島市議会基本条例 P 25～26
 - 15. 議会事務局組織 P 26
- 福島市組織機構図 P 27～28
- 行政視察対応一覧 P 29
- 意見書・決議一覧 P 29

【福島市の位置・地勢・気象等】

北緯	37° 45' 39"
東経	140° 28' 26"
標高	65.68 m
面積	767.72 km ²
東西の距離	30.2 km
南北の距離	39.1 km



福島市は、福島県の北部に位置し、西は奥羽山脈に連なる吾妻連峰、東は丘陵状の阿武隈高地に囲まれた福島盆地の中心に開けており、南北に阿武隈川が流れている。

市域の中心には信夫山が位置し、これを取り巻くように市街地が広がっている。

気候は内陸性気候であり、典型的な盆地気候の特徴を示す。四季の寒暖の差が激しく、夏は暑く冬は寒い。降水量は6月に多く2月に少ない夏雨型になっている。

暖地性、寒地性の果物の両方が栽培され、サクランボ、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴ、カキと四季折々の果実が収穫され、全国有数の果物の産地となっている。

【福島市のあゆみ】

明治40年(1907)	市制施行(全国59番目)	平成8年(1996)	「防災協定」締結
大正14年(1925)	上水道竣工	9年(1997)	市制施行90周年
昭和18年(1943)	市役所火災	10年(1998)	保健福祉センター落成
24年(1949)	奥羽線福島～米沢間電化	11年(1999)	リサイクルプラザ落成
27年(1952)	市役所庁舎新築	12年(2000)	総合防災情報システム稼働
	第7回国体開催	13年(2001)	平和通り地下駐車場供用開始
32年(1957)	市制施行50周年	14年(2002)	福島市男女共同参画推進条例制定
34年(1959)	公会堂落成	15年(2003)	産業交流プラザ開設
	スカイライン開通	16年(2004)	消費生活センター開設
35年(1960)	東北本線 上野～福島間電化	17年(2005)	こむこむ館開設
		18年(2006)	十六沼サッカー場オープン
45年(1970)	信夫山トンネル開通	19年(2007)	市制施行100周年
46年(1971)	路面電車廃止	20年(2008)	飯野町と合併
47年(1972)	中央卸売市場開場	21年(2009)	福島市名誉市民 古閑裕而氏生誕100年
48年(1973)	市民憲章制定	22年(2010)	アクティブシニアセンターオープン
50年(1975)	東北縦貫自動車道開通	23年(2011)	市役所新庁舎東棟開庁
51年(1976)	人口25万人突破		東日本大震災発生
55年(1980)	75年ぶりの大冷夏	24年(2012)	屋内遊び場さんどパーク開設
57年(1982)	東北新幹線開通	25年(2013)	ぴよんぴよんドーム開設
59年(1984)	音楽堂落成		東北六魂祭を本市で開催
63年(1988)	阿武隈急行全線開通	26年(2014)	中央卸売市場を公設地方卸売市場に転換
平成元年(1989)	パセオ470竣工		日本陸上競技選手権大会を本市で開催
2年(1990)	放置自転車防止条例施行	27年(2015)	松川支所、松川学習センター落成
3年(1991)	ハルノランド福島落成	28年(2016)	荒川区と友好都市協定を締結
4年(1992)	飯坂温泉観光会館落成	30年(2018)	中核市へ移行
5年(1993)	地方拠点都市地域指定	令和元年(2019)	東北絆まつりを本市で開催
6年(1994)	国体記念体育館落成	2年(2020)	東京2020オリンピック・パラリンピック1年延期
7年(1995)	第50回福島国体開催		

○ 人 口 等

区 分	市制施行当時	平成27年国勢調査 平成27年10月1日現在	推 計 人 口 令和3年4月1日現在	住 基 人 口 令和3年3月31日現在
人 口	32,524 人	294,247 人	282,925 人	274,297 人
男性	16,357 人	144,690 人	138,503 人	133,285 人
女性	16,167 人	149,557 人	144,422 人	141,012 人
世 帯	5,582 世帯	122,269 世帯	125,203 世帯	123,782 世帯

○ 産 業 別 人 口 (国勢調査結果から)

区分	第1次産業		第2次産業		第3次産業		分類不能	合 計
昭和60年	14,226人	10.9%	35,154人	26.9%	81,276人	62.2%	74人	130,730人
平成2年	11,891人	8.6%	39,114人	28.3%	87,129人	63.0%	129人	138,263人
平成7年	10,389人	7.1%	40,277人	27.7%	94,432人	65.0%	257人	145,355人
平成12年	8,954人	6.2%	38,628人	26.9%	94,875人	65.9%	1,407人	143,864人
平成17年	8,280人	5.9%	31,943人	22.9%	96,875人	69.6%	2,161人	139,259人
平成22年	6,161人	4.7%	29,906人	22.6%	90,159人	68.1%	6,187人	132,413人
平成27年	5,644人	4.0%	32,308人	23.0%	96,449人	68.7%	6,034人	140,435人

○ 都 市 宣 言

『交通安全都市宣言』 昭和36年12月14日議決

『平和都市宣言』 昭和48年 3月22日議決

『核兵器廃絶平和都市宣言』 昭和60年12月26日議決

『ゆとり宣言』 平成 2年 6月21日議決

『地球環境の保全宣言』 平成 5年 3月19日議決

『交通安全都市宣言』 平成10年 9月22日議決

令和3年度各会計別当初予算

【単位：千円、％】

会計区分		令和3年度	令和2年度	比較	
				増 △減	増減率
一般会計		112,300,000	117,000,000	△ 4,700,000	△ 4.0
特別 会 計	1 国民健康保険 事業費	23,325,384	23,404,431	△ 79,047	△ 0.3
	2 飯坂町財産区	96,957	105,753	△ 8,796	△ 8.3
	3 公設地方卸売 市場事業費	283,703	212,325	71,378	33.6
	4 土地区画整理 事業費	29,386	78,828	△ 49,442	△ 62.7
	5 介護保険事業費	27,572,327	27,177,867	394,460	1.5
	6 庁舎整備基金運用	1,001,000	1,001,500	△ 500	0.0
	7 後期高齢者医療 事業費	3,665,859	3,740,514	△ 74,655	△ 2.0
	8 青木財産区	1,854	1,854	0	0.0
	9 工業団地整備 事業費	122,288	4,598	117,690	2,559.6
	10 母子父子寡婦福祉 資金貸付事業費	13,909	13,592	317	2.3
	計	56,112,667	55,741,262	371,405	0.7
水道事業会計		10,471,515	11,249,611	△ 778,096	△ 6.9
下水道事業会計		12,840,855	12,503,387	337,468	2.7
農業集落排水事業会計		283,858	287,253	△ 3,395	△ 1.2
合計		192,008,895	196,781,513	△ 4,772,618	△ 2.4

令和3年度一般会計当初予算

〔科目別歳入〕

【単位：千円、％】

款 別	令和3年度		令和2年度		増 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 市税	36,000,000	32.1	39,800,000	34.0	△ 3,800,000	△ 9.5
2 地方譲与税	1,016,352	0.9	1,070,352	0.9	△ 54,000	△ 5.0
3 利子割交付金	26,000	0.0	30,000	0.0	△ 4,000	△ 13.3
4 配当割交付金	88,000	0.1	110,000	0.1	△ 22,000	△ 20.0
5 株式等譲渡所得割交付金	56,000	0.0	56,000	0.0	0	0.0
6 法人事業税交付金	480,000	0.4	340,000	0.3	140,000	41.2
7 地方消費税交付金	6,520,000	5.8	6,922,000	5.9	△ 402,000	△ 5.8
8 ゴルフ場利用税交付金	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
9 環境性能割交付金	66,000	0.1	90,000	0.1	△ 24,000	△ 26.7
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,967	0.0	1,967	0.0	0	0.0
11 地方特例交付金	2,644,000	2.4	216,000	0.2	2,428,000	1,124.1
12 地方交付税	8,700,000	7.7	12,600,000	10.8	△ 3,900,000	△ 31.0
13 交通安全対策特別交付金	41,000	0.0	36,000	0.0	5,000	13.9
14 分担金及び負担金	605,472	0.5	616,007	0.5	△ 10,535	△ 1.7
15 使用料及び手数料	1,569,537	1.4	1,642,179	1.4	△ 72,642	△ 4.4
16 国庫支出金	19,396,105	17.3	17,355,740	14.8	2,040,365	11.8
17 県支出金	12,605,150	11.2	17,661,641	15.1	△ 5,056,491	△ 28.6
18 財産収入	180,134	0.2	206,118	0.2	△ 25,984	△ 12.6
19 寄附金	1,271,617	1.1	424,380	0.4	847,237	199.6
20 繰入金	3,463,337	3.1	2,533,937	2.2	929,400	36.7
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
22 諸収入	2,744,228	2.5	3,130,378	2.7	△ 386,150	△ 12.3
23 市債	14,820,100	13.2	12,152,300	10.4	2,667,800	22.0
合 計	112,300,000	100.0	117,000,000	100.0	△ 4,700,000	△ 4.0

<主な増減理由>

- 1 市税 360億円（対前年度比 △38億円 △9.5%）
 新型コロナウイルス感染症の影響などによる大幅な減収を見込んでいます。
 - 市民税 新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の悪化や給与所得の落ち込みによる減（168億3,900万円 △9億9,100万円）
 - 固定資産税 新型コロナウイルス感染症対策による減免（家屋・償却資産）や土地の評価替え据え置きなどにより減（139億200万円 △25億9,600万円）
- 12 地方交付税 87億円（対前年度比 △39億円 △31.0%）
 - 普通交付税 国勢調査人口の減少や臨時財政対策債への振替額の増加による減（72億円 △20億円）
 - 震災復興特別交付税 復興枠での国補助メニューの減少などを反映した減（5億円 △19億円）
- 23 市債 148億2,010万円（対前年度比 +26億6,780万円 +22.0%）
 - 臨時財政対策債 市税の減収などによる普通交付税算定上の財源不足額の増加と、国の地方財政計画における臨時財政対策債の伸びによる増（67億円 +27億円）
 - 事業充当の市債 福島駅東口再開発事業や新最終処分場整備事業の進捗、衛生処理場整備事業への着手によるほか、既存施設の長寿命化や災害対策への重点的な取り組みによる増（81億2,010万円 △3,220万円）

[自主・依存財源の内訳]

【単位：千円、％】

区 分		令和3年度			令和2年度		増 △減	
		予算額	構成比	除染事業 を除く	予算額	構成比	予算額	増減率
自主財源	市税			36,000,000				
	分担金及び負担金	605,472	0.5	0.6	616,007	0.5	△ 10,535	△ 1.7
	使用料及び手数料	1,569,537	1.4	1.5	1,642,179	1.4	△ 72,642	△ 4.4
	財産収入	180,134	0.2	0.2	206,118	0.2	△ 25,984	△ 12.6
	寄附金	1,005,817	0.9	0.9	156,280	0.1	849,537	543.6
	繰入金	3,463,337	3.1	3.2	2,533,937	2.2	929,400	36.7
	繰越金	1	0.0	0.0	1	0.0	0	0.0
	諸収入	2,597,277	2.3	2.4	3,083,162	2.7	△ 485,885	△ 15.8
	小 計	45,421,575	40.5	42.1	48,037,684	41.1	△ 2,616,109	△ 5.4
依存財源	地方譲与税	1,016,352	0.9	0.9	1,070,352	0.9	△ 54,000	△ 5.0
	利子割交付金	26,000	0.1	0.0	30,000	0.0	△ 4,000	△ 13.3
	配当割交付金	88,000	0.1	0.1	110,000	0.1	△ 22,000	△ 20.0
	株式等譲渡所得割交付金	56,000	0.0	0.1	56,000	0.1	0	0.0
	法人事業税交付金	480,000	0.4	0.4	340,000	0.3	140,000	41.2
	地方消費税交付金	6,520,000	5.8	6.0	6,922,000	5.9	△ 402,000	△ 5.8
	ゴルフ場利用税交付金	5,000	0.0	0.0	5,000	0.0	0	0.0
	環境性能割交付金	66,000	0.1	0.1	90,000	0.1	△ 24,000	△ 26.7
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,967	0.0	0.0	1,967	0.0	0	0.0
	地方特例交付金	2,644,000	2.4	2.5	216,000	0.2	2,428,000	1,124.1
	地方交付税	8,700,000	7.7	8.0	12,600,000	10.8	△ 3,900,000	△ 31.0
	交通安全対策特別交付金	41,000	0.0	0.0	36,000	0.0	5,000	13.9
	国庫支出金	19,396,105	17.3	17.9	17,355,740	14.8	2,040,365	11.8
	県支出金	12,605,150	11.2	7.8	17,661,641	15.1	△ 5,056,491	△ 28.6
	寄附金	265,800	0.2	0.3	268,100	0.2	△ 2,300	△ 0.9
	諸収入	146,951	0.1	0.1	47,216	0.0	99,735	211.2
	市債	14,820,100	13.2	13.7	12,152,300	10.4	2,667,800	22.0
小 計	66,878,425	59.5	57.9	68,962,316	58.9	△ 2,083,891	△ 3.0	
合 計	112,300,000	100.0	100.0	117,000,000	100.0	△ 4,700,000	△ 4.0	

※ 除染関連事業にかかる財源4,216,000千円を除いた場合は、自主財源比率42.1%、依存財源57.9%の割合となります。

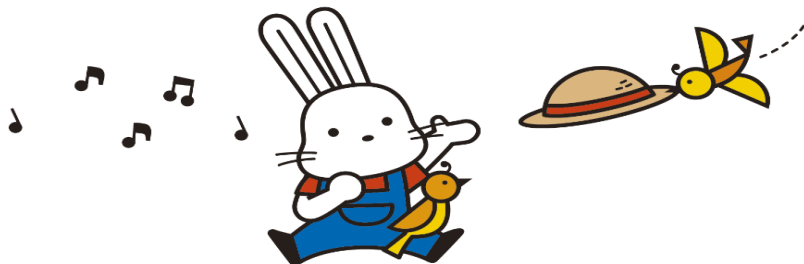
[科目別歳出]

【単位：千円、％】

款 別	令和3年度		令和2年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 議 会 費	657,484	0.6	652,019	0.6	5,465	0.8
2 総 務 費	11,198,369	10.0	10,137,955	8.7	1,060,414	10.5
3 民 生 費	42,065,726	37.4	40,124,461	34.3	1,941,265	4.8
4 衛 生 費	11,119,570	9.9	11,833,587	10.1	△ 714,017	△ 6.0
5 労 働 費	108,695	0.1	120,057	0.1	△ 11,362	△ 9.5
6 農林水産業費	2,072,231	1.8	3,229,857	2.8	△ 1,157,626	△ 35.8
7 商 工 費	3,852,872	3.4	5,178,507	4.4	△ 1,325,635	△ 25.6
8 土 木 費	13,210,114	11.8	10,524,649	9.0	2,685,465	25.5
9 消 防 費	3,341,766	3.0	3,832,915	3.3	△ 491,149	△ 12.8
10 教 育 費	11,638,603	10.4	13,036,017	11.1	△ 1,397,414	△ 10.7
11 災 害 復 旧 費	4,266,000	3.8	9,836,000	8.4	△ 5,570,000	△ 56.6
12 公 債 費	8,468,570	7.5	8,193,976	7.0	274,594	3.4
13 予 備 費	300,000	0.3	300,000	0.2	0	0.0
合 計	112,300,000	100.0	117,000,000	100.0	△ 4,700,000	△ 4.0

<主な増減理由>

- 2 総 務 費 ふるさと納税促進事業費の増
飯野支所庁舎複合化整備事業費の増
- 3 民 生 費 高齢者福祉施設整備費補助金の増
児童発達支援事業費の増
- 6 農林水産業費 ため池等放射性物質対策事業費の皆減
放射性物質吸収抑制対策事業費の減
- 7 商 工 費 地域振興施設「道の駅」整備事業費の減
- 8 土 木 費 福島駅東口地区市街地再開発事業費の増
新まちなか広場整備事業費の増
- 10 教 育 費 福島養護学校校舎等改築事業費の減
渡利学習センター整備事業費の皆減
- 11 災 害 復 旧 費 除去土壌搬出等推進事業費の減



[性質別歳出]

【単位：千円、％】

性質別	令和3年度		令和2年度		増△減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
義務的経費						
人件費	19,401,757	17.3	19,328,402	16.5	73,355	0.4
扶助費	25,973,839	23.1	25,235,634	21.6	738,205	2.9
公債費	8,472,637	7.5	8,198,047	7.0	274,590	3.3
小計	53,848,233	47.9	52,762,083	45.1	1,086,150	2.1
消費的経費						
物件費	18,138,997	16.2	17,529,929	15.0	609,068	3.5
維持補修費	1,693,774	1.5	1,723,184	1.5	△ 29,410	△ 1.7
補助費等	8,648,199	7.7	8,396,588	7.2	251,611	3.0
小計	28,480,970	25.4	27,649,701	23.7	831,269	3.0
投資的経費						
普通建設事業費(補助)	9,534,997	8.5	9,984,611	8.5	△ 449,614	△ 4.5
普通建設事業費(単独)	4,969,310	4.4	5,167,868	4.4	△ 198,558	△ 3.8
小計	14,504,307	12.9	15,152,479	12.9	△ 648,172	△ 4.3
災害復旧費						
災害復旧費(補助)	4,216,000	3.7	9,836,000	8.4	△ 5,620,000	△ 57.1
災害復旧費(単独)	67,479	0.1	18,009	0.0	49,470	274.7
小計	4,283,479	3.8	9,854,009	8.4	△ 5,570,530	△ 56.5
その他						
積立金	62,870	0.1	436,181	0.4	△ 373,311	△ 85.6
投資及び出資金	100	0.0	100	0.0	0	0.0
貸付金	1,128,240	1.0	1,368,371	1.2	△ 240,131	△ 17.5
繰出金	9,691,801	8.6	9,477,076	8.1	214,725	2.3
予備費	300,000	0.3	300,000	0.2	0	0.0
小計	11,183,011	10.0	11,581,728	9.9	△ 398,717	△ 3.4
合計	112,300,000	100.0	117,000,000	100.0	△ 4,700,000	△ 4.0

<主な増減理由>

扶助費	児童発達支援事業費の増 生活保護扶助費の増
公債費	長期債償還元金の増
物件費	ふるさと納税促進事業費の増 ICT教育フューチャービジョン推進事業費の増
補助費等	地域公共交通支援事業費の増 緊急経済対策資金融資制度利子補給事業費の増
普通建設費	福島養護学校校舎等改築事業費の減 地域振興施設「道の駅」整備事業費の減 新最終処分場整備事業費の減 福島駅東口地区市街地再開発事業費の増
災害復旧費	除去土壌搬出等推進事業費の減
積立金	農山村地域復興基盤総合整備事業交付金基金積立金の皆減
貸付金	中小企業振興預託金の減
繰出金	介護保険事業費特別会計繰出金の増

[令和3年度 主要事業の紹介]

主要事業（新規事業、拡充した事業）を分野ごとに紹介します。

記号欄の説明 ◎…新規事業、○…一部新規及び事業の拡充（説明欄中下線の部分）

1 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現

(1)「子育てするなら福島市」の実現

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	待機児童対策推進パッケージ ①保育アテンダント事業	5,171	保育施設等の利用を希望する保護者の相談に応える専任相談員を増員し、保護者のニーズに寄り添ったよりきめ細かなマッチングを進めます。(R2:1名 ⇒ R3:2名)
◎	②幼稚園送迎ステーション事業	18,493	受入れに余裕のある地域型保育施設と私立幼稚園の利用を促進するため、幼稚園の開園時間前後に預かり保育を行う「送迎ステーション」を設置します。
○	③保育士宿舍借り上げ支援事業	24,750	保育士が働きやすい環境を整えるため、宿舍を借り上げる保育施設に対し、費用の一部を補助します。(R2:19施設 ⇒ R3:22施設)
○	④保育支援員雇用支援事業	42,000	保育士の業務をサポートする支援員を雇用する保育施設に対し、費用の一部を補助します。(R2:28施設 ⇒ R3:35施設)
	⑤UIターン保育士等就労支援事業	2,000	県外から本市に転入して就労する保育士・幼稚園教諭に対し、就労支援金を交付します。
○	⑥保育士等奨学資金貸付事業	39,140	保育士や幼稚園教諭を目指す学生に対し、就学に必要な資金の一部を無利子で貸し付けます。(R2:49名 ⇒ R3:74名)
○	⑦保育士するなら福島市！プロモーション事業	3,434	新卒保育士を確保するため、保育士養成校と連携した就職相談会やオンラインでの就職セミナー、PR動画によるSNSでのプロモーション等を実施します。
○	⑧保育所等における事故防止推進事業	14,208	安全安心な保育を実施するため、専門職による巡回支援指導や睡眠中の事故防止機器導入、園外活動時の見守り強化に取り組みます。
○	子ども・子育て新ステージ2020推進事業 ①休日保育事業	10,008	就労形態の多様化に対応するため、休日保育を実施します。また、認可外保育施設等に在籍する児童が休日保育を利用する場合、費用の一部を補助します。
	②病児・緊急対応強化事業	8,700	ファミリーサポート事業（送迎・預かり）における市民ニーズに応えるため、病児・病後児や深夜・早朝、宿泊を伴う緊急預かりを実施します。
○	③特色ある幼児教育・保育推進事業 （未来に輝く！ふくしまっ子プロモーション事業）	18,663	豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援するため、特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して、費用の一部を補助します。 また、事業のPR動画を作成し、子育て世代の定住人口拡大につなげます。
	④保育施設多子世帯負担軽減事業	51,773	満18歳以下の子どもが2人以上いる世帯に対し、所得に応じて第2子以降の認可保育施設の保育料を軽減します。
	⑤放課後児童クラブ支援員等処遇改善等事業	35,976	満18歳以下の子どもが2人以上いる世帯に対し、所得に応じて第2子以降の放課後児童クラブ利用料を軽減します。
	⑥放課後児童クラブ支援員等処遇改善等事業	151,421	放課後児童クラブの質の向上を図るため、支援員等の処遇改善措置に対して補助します。
	公立保育所運営	1,169,987	公立保育所における保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かりを実施します。(11か所)

(1)「子育てするなら福島市」の実現 ※前頁の続き

【単位：千円】



記号	事業名	予算額	説明
	市立認定こども園運営	475,136	市立認定こども園における教育・保育のほか、延長保育や障がい児保育を実施します。 (3園)
	私立保育所運営	4,054,123	私立保育所における保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かり、病児保育(体調不良児対応型)を実施します。 (34園)
	私立認定こども園運営	1,592,588	私立認定こども園における教育・保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かり、病児保育(体調不良児対応型)を実施します。 (12園)
	地域型保育施設運営	941,808	地域型保育施設における保育のほか、延長保育を実施します。 (22園)
○	放課後児童健全育成事業	657,873	児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブを増設して運営します。 (R2:87クラブ ⇒ R3:91クラブ)
◎	妊産婦支援の充実 ①妊婦のPCR検査支援事業	22,000	安心して出産できるよう、希望する妊婦に対してPCR検査を実施します。
◎	子育て関連施設感染防止対策支援事業	137,950	保育施設、幼稚園、放課後児童クラブなどの子育て関連施設において、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら事業が継続できるよう支援します。
◎	結婚新生活支援 ①結婚新生活支援事業	43,650	結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新婚世帯の住宅の取得や貸借費用(敷金・礼金・家賃等)及び引越費用等の一部を補助します。

(2)教育の質の充実

記号	事業名	予算額	説明
○	福島型オンライン授業	428,513	ICT支援員を活用した専門的支援やICT指導員による効果的な機器活用研修により、児童生徒1人1台の端末をすべての教科、多くの授業で活用し、情報活用能力の育成を図ります。
	頑張るふくしまっ子復興夢応援基金事業	2,000	全国大会等で優秀な成績をおさめた市内の小・中学校に対し、さらなる学校活動の推進に必要な備品等を支援します。
◎	ふくしまっ子未来トーク開催事業	353	次世代を担う子どもたちの市政関心や地域参画の意識高揚を図るため、市内小学校の代表児童と市長、教育長によるオンラインを介した未来トークを実施します。
◎	中学生ドリームチャレンジモデル事業	7,000	夢と志を持ち、可能性に挑戦する子どもを育成する福島型の教育を目指すため、「キャリア教育部門」と「部活動部門」でモデル事業を実施します。
○	いじめ・不登校防止対策推進事業	5,313	別室登校生徒を支援するため、生徒支援教員を増員して市内の不登校生徒が多い学校に配置します。 (R2:3名 ⇒ R3:5名)
	語学指導を行う外国青年招致事業	102,756	小・中学校における外国語教育のさらなる充実を図るため、小・中学校へ派遣する外国青年(ALT)を配置します。
	学力向上サポート事業	11,736	重点課題の一つである中学校数学科の学力向上のため、学習支援員を配置し、授業等における個に応じた手厚い指導を実施します。
	中学生ドリームアップ事業	10,156	望ましい勤労観・職業観を育むため、中学校2年生を対象にした職場体験活動や1年生の事前学習、3年生の進路選択に向けた進路学習など、3年間の系統をもたせたカリキュラムを実施します。
◎	読解力向上推進事業	3,930	児童生徒の基礎的読解力の向上を図るため、RST(リーディングスキルテスト)の実施、研究委託校での授業実践など、調査研究や研修会を通して、読解力向上のための取り組みを推進します。


(3) 学びの環境の充実

[単位：千円]

記号	事業名	予算額	説明																											
○	学校施設長寿命化改修事業	210,000	児童生徒の教育環境整備のため、学校施設等の長寿命化を実施します。																											
	学校トイレ洋式化改修事業	—	子どもたちの学習環境の改善を図るため、中学校等のトイレ洋式化改修事業を進めます。 R3は小・中学校で約307基の洋式化改修工事を実施します。																											
	【3月補正前倒し分】	(195,100)	※すべて3月補正に前倒しします。																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>洋式化便器数(基)</th> <th>大便器総数(基)</th> <th>洋式化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度末</td> <td>731</td> <td>3,236</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,274</td> <td>3,286</td> <td>38.8%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1,735</td> <td>3,276</td> <td>53.0%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,139</td> <td>3,150</td> <td>67.9%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,446</td> <td>3,050</td> <td>80.2%</td> </tr> <tr> <td>4カ年度計</td> <td>2,446</td> <td>3,050</td> <td>80.2%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	洋式化便器数(基)	大便器総数(基)	洋式化率	平成29年度末	731	3,236	22.6%	平成30年度	1,274	3,286	38.8%	令和元年度	1,735	3,276	53.0%	令和2年度	2,139	3,150	67.9%	令和3年度	2,446	3,050	80.2%	4カ年度計	2,446	3,050	80.2%	
年度	洋式化便器数(基)	大便器総数(基)	洋式化率																											
平成29年度末	731	3,236	22.6%																											
平成30年度	1,274	3,286	38.8%																											
令和元年度	1,735	3,276	53.0%																											
令和2年度	2,139	3,150	67.9%																											
令和3年度	2,446	3,050	80.2%																											
4カ年度計	2,446	3,050	80.2%																											
○	小・中学校屋内運動場改築事業 【3月補正前倒し分】	221,900 (376,660)	<p>子どもたちの安全・安心な学習環境を確保するため、小・中学校屋内運動場の改築を進めます。</p> <p>○屋内運動場改築工事 (2校・2棟) 瀬上小、西信中 (瀬上小)</p> <table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>397,000千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>151,120千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>87,080千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>158,800千円</td> </tr> </table> <p>(西信中)</p> <table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>389,100千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>173,640千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>59,820千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>155,640千円</td> </tr> </table> <p>○屋内運動場改築設計 (2校・2棟) 余目小、渡利中 ※費用の一部を3月補正に前倒しします。</p>	全体事業費(継続費分)	397,000千円	R2	151,120千円	R3	87,080千円	R4	158,800千円	全体事業費(継続費分)	389,100千円	R2	173,640千円	R3	59,820千円	R4	155,640千円											
全体事業費(継続費分)	397,000千円																													
R2	151,120千円																													
R3	87,080千円																													
R4	158,800千円																													
全体事業費(継続費分)	389,100千円																													
R2	173,640千円																													
R3	59,820千円																													
R4	155,640千円																													
																														
○	ふくしま支援学校校舎等改築事業 【3月補正前倒し分】	73,618 (804,240)	<p>耐震性の確保及びバリアフリー化を図るため、校舎等改築工事を実施します。</p> <p>○校舎棟・ものづくり棟</p> <table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>2,889,700千円</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>588,880千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2,300,820千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—千円</td> </tr> </table> <p>○管理棟・屋内運動場</p> <table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>966,000千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>95,700千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>46,530千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>659,470千円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>164,300千円</td> </tr> </table> <p>※費用の一部を3月補正に前倒しします。</p>	全体事業費(継続費分)	2,889,700千円	R元	588,880千円	R2	2,300,820千円	R3	—千円	全体事業費(継続費分)	966,000千円	R2	95,700千円	R3	46,530千円	R4	659,470千円	R5	164,300千円									
全体事業費(継続費分)	2,889,700千円																													
R元	588,880千円																													
R2	2,300,820千円																													
R3	—千円																													
全体事業費(継続費分)	966,000千円																													
R2	95,700千円																													
R3	46,530千円																													
R4	659,470千円																													
R5	164,300千円																													

(3) 学びの環境の充実※前頁の続き

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明								
○	松陵中学校校舎等改築事業 	126,000	校舎等改築に向けた基本・実施設計等を実施します。また、併せて、本市内初の義務教育学校の検討も進めます。 <table border="1" data-bbox="683 324 1117 488"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>210,000千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>42,000千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>126,000千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>42,000千円</td> </tr> </table>	全体事業費(継続費分)	210,000千円	R2	42,000千円	R3	126,000千円	R4	42,000千円
全体事業費(継続費分)	210,000千円										
R2	42,000千円										
R3	126,000千円										
R4	42,000千円										
○	特別支援教育推進事業	156,051	肢体不自由やADHD(注意欠陥多動性障がい)、LD(学習障がい)等の児童生徒の学習を支援するため、特別支援教育協力員及び支援員を配置します。 (R2:87名 ⇒ R3:96名)								
○	学校図書館図書整備事業	17,300	学校における読書活動の充実を図るため、学校図書館図書の更新を計画的に行えるよう、予算を拡充し、子どもが最新の良書に触れ、本を手に取りやすい環境を整備します。								

2 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進

(1) 放射線対策の推進

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
	除去土壌搬出等推進事業	4,216,000	除去土壌の現場保管の早期解消を図るため、仮置場への搬出を令和3年度中に完了し、中間貯蔵施設への輸送が完了した仮置場の原状回復及び返還を順次進めます。
	ふくしま森林再生事業	197,507	本市の森林再生を図るため、原子力災害による停滞が懸念される民有林の整備を進めます。
	放射線健康管理事業	89,801	放射線による健康不安の軽減と、正しい知識の普及啓発を図るため、内部・外部被ばく検査の実施や出前講座、相談等を行います。

(2) 風評払拭に向けた取り組みの推進

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明						
○	福島駅前軽トラ市開催事業	6,000	本市農産物の風評払拭と中心市街地の活性化を図るため、福島駅前での軽トラ市を定期的に開催します。						
◎	地域産業を活用した観光コンテンツ開発事業	15,000	本市の現状と本市産品の安全性を周知するため、地域産業を活用した新しい観光コンテンツの開発により事業の多角化に取り組む実行委員会等の活動費用の一部を補助します。						
○	地域振興施設「(仮称)道の駅ふくしま」整備事業費	689,197	福島大笹生ICに隣接する「道の駅」を整備します。また、敷地内に屋内こども遊び場を整備することにより、「道の駅」の魅力を高めます。 R3は、外構・建築工事を完了させるとともに、R4春の開業に向けた準備を進めます。 <table border="1" data-bbox="710 1585 1189 1729"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>871,400千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>435,700千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>435,700千円</td> </tr> </table>	全体事業費(継続費分)	871,400千円	R2	435,700千円	R3	435,700千円
全体事業費(継続費分)	871,400千円								
R2	435,700千円								
R3	435,700千円								

3 災害対策の強化

(1) 台風等による水害対策の強化

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
◎	河川強靱化事業	410,000	頻発する豪雨や台風等による浸水の予防及び被害軽減のため、新たな5ヶ年計画で普通河川の整備を進めます。
	洪水ハザードマップ活用事業	12,050	自助・共助による防災意識を高め、市民の安全確保につなげるため、ハザードマップの配布、洪水の浸水深や避難行動に関する標識設置を行います。
◎	農業水路等長寿命化・防災減災事業	10,000	防災対策を図るため、老朽化した農業水利施設を更新します。
◎	ポンプ場等耐水化事業	25,000	河川氾濫等の災害時における下水道機能への影響を最小限に抑えるため、下水道施設の耐水化計画を策定します。
○	立地適正化計画推進事業	8,610	適切な土地利用と安全なまちづくりの推進のため、居住推奨区域等における防災・減災対策の検討を進めます。

(2) 地震による建築物等の被害への対策強化

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
	建築物耐震改修促進事業	24,284	建築物の耐震化を促進するため、耐震診断が完了した民間施設の改修工事等の費用の一部を補助します。
	木造住宅耐震改修促進事業	15,877	S56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震診断・改修工事費用の一部を補助します。

(3) 災害時の情報収集伝達体制等の強化

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
◎	障がい者に配慮した災害時支援事業	1,000	災害時に障がい者とその家族が安心して避難できるよう、通い慣れた通所事業所等を避難所として利用できるよう協定を締結します。 また、災害時に備え、オストメイトの方がストーム用装具を分散保管できる場所を福祉避難所に確保します。
◎	災害廃棄物処理計画策定事業	6,500	災害廃棄物の適正かつ円滑・迅速な処理を図るため、災害廃棄物処理計画を策定します。

(4) 感染症に対応した避難支援の強化

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
◎	避難所対策	20,000	避難所における新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、消毒液やエアベッド、テント型パーティションを購入して備蓄します。

(5) 消防救急体制の充実

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明						
	消防車両等更新事業	67,663	市民の安全安心を確保するため、消防車両を更新し、消防力や防災力を強化します。						
	福島消防署清水分署整備事業	279,092	地域の防災拠点となる福島消防署清水分署新庁舎の建設工事を行います。						
			<table border="1"> <tr> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>389,000千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>155,600千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>233,400千円</td> </tr> </table>	全体事業費 (継続費分)	389,000千円	R2	155,600千円	R3	233,400千円
全体事業費 (継続費分)	389,000千円								
R2	155,600千円								
R3	233,400千円								
◎	ドッキングポイント広報板設置事業	720	官民一体で市民の生命を守る取り組みを推進するため、医師搬送の際に救急車が合流する場所を企業より協力を受けるとともに、ドッキングポイント掲示板を設置します。						
◎	AEDサポート掲示板設置事業	200	官民一体で市民の生命を守る取り組みを推進するため、AED貸出協力企業に対してAEDサポート掲示板を交付します。						

4 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進

(1) 健都ふくしまの実現

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	健都ふくしま創造事業		
○	①健都ふくしま創造市民会議の開催	384	市民総ぐるみの健康づくり機運醸成を図るため、「健都ふくしま創造市民会議」と「健都ふくしまチャレンジ1, 000人会議(仮)」を開催します。
○	②健康づくりポイント事業	209	市民一人ひとりの健康づくりを応援する環境づくりの一環として、県との共同事業である健康づくりポイント事業に市独自の親子参加型事業を追加し、働き盛り世代の参加を促します。
○	③受動喫煙対策	5,165	「福島市受動喫煙防止条例」に基づき、受動喫煙を防止するための周知啓発や環境整備に取り組むため、受動喫煙防止指導員を配置し、受動喫煙防止重点区域における喫煙中止の指導等を実施します。
○	④「適しお」の推進(食育)	3,554	市民の健康的な食環境を整備するため、各団体から「適しおサポーター」を募集し、「適しお」取組の普及啓発や、食生活改善推進員による食に関する地域単位での講習会等を行います。
○	⑤歯と口腔の健康づくり	581	「福島市歯と口腔の健康づくり推進条例」に基づき、総合的かつ効果的に歯と口腔の健康づくりを推進します。
○	⑥地域の健康づくり	3,096	地域の健康課題についての学習会や健康づくりを推進する組織の設置等、地域特性に応じた市民の主体的な健康づくり活動について、取組に応じたインセンティブを導入し、支援します。
○	⑦職域の健康づくり	501	職場の健康づくり推進委員会を設置し、働く世代の健康づくりや、健康経営に取り組む企業を奨励し、職場での健康講座や検診受診を促進します。
○	⑧生活習慣病重症化予防対策事業	226	生活習慣病の重症化を予防するため、講演会等を行います。 また、医療機関関係者等と組織する対策推進委員会を設置し、重症化予防の連携強化を図ります。
	がん検診推進事業	681,313	早期のがん発見のため、がん検診を実施するとともに、検診受診率向上を図るため、自己負担一部無料化や、ピンクリボンキャンペーンを推進します。 また、市独自の対策強化として、受診再勧奨を実施します。
	国民健康保険特定健康診査等事業	254,529	被保険者の健康保持増進と重症化予防を図るため、レセプトや特定健診のデータを活用し、生活習慣病の早期発見や運動教室、訪問指導等を実施します。

(2) 地域医療体制の強化

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	地域医療確保対策費	347,741	市民医療体制の確保と、地域医療の充実強化を図るため、市内救急告示病院等で、夜間、土曜日の午後、日・祝日及び年末年始の日中における二次救急医療体制を確保するための費用を補助します。 また、医師・看護師の確保対策事業を実施します。
○	福島県立医科大学との連携(寄附講座)	63,000	市内の二次救急医療機関に福島県立医科大学の医師を派遣し、当直医の確保と臨床研修の実施により地域救急医療体制の基盤強化を図ります。
○	夜間急病診療所運営事業	221,551	夜間における一次救急医療体制を確保するため、内科、外科、小児科の夜間急病診療所を午後7時から翌朝7時30分まで(小児科は午後10時まで)開設します。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、職員を増員し安全に受診できる体制を整備します。
○	休日救急歯科診療所運営事業	32,270	休日の歯科受診に対応するため、日・祝日、年末年始の午前9時から午後5時まで、保健福祉センター内で休日救急歯科診療所を開設します。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、職員を増員し安全に受診できる体制を整備します。

(3)人生100年時代に対応した高齢者の元気づくり

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	高齢者生涯活躍プロジェクト事業	1,160	元気な高齢者が能力や経験を活かすことができる「生涯現役社会」実現のため、高齢者・企業への雇用に関するニーズ調査や研修会・講演会等の開催、介護現場での就業体験を実施します。
	温泉利用介護予防事業 (湯ったりデイサービス)	20,000	高齢者の社会的孤立の解消と介護予防のため、市内の温泉旅館等においてデイサービス事業を実施します。
	路線バス等高齢者利用促進事業	203,604	75歳以上の市民や広域避難者を対象に、市内路線バス及び福島交通飯坂線の運賃無料化を実施します。
	高齢者元気アップ事業 関連	2,203	高齢者の生きがいがづくりや健康増進、積極的な社会参加を促すため、シニア世代を対象にした教養、健康、ICT等をテーマにした講座を実施します。

(4)誰もが安心して暮らせる共生社会の実現

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
◎	計画相談支援推進事業	12,000	障がい福祉サービス利用者に係るケアマネジメント体制を強化するため、相談支援専門員拡充に対する補助制度を創設します。
	バリアフリー推進パッケージ ①バリアフリー推進事業	2,720	「心のバリアフリー」の正しい理解と普及啓発を図るため、バリアフリーパートナーミーティングの開催やまち歩き点検、出前講座等を実施します。
	②いきいき！ ふくしまマーケット事業	1,500	障がい者の社会参加促進や工賃向上のため、障がい者が製作した商品の販路拡大や販売促進を支援します。
	③農福連携普及推進事業	100	障がい者の生きがいがづくりや工賃向上のため、農業体験会や懇談会を開催し、障がい者と農業関係者の相互理解を促進します。
	④手話言語条例関連事業	2,405	聴覚障がい者の意思疎通のバリア解消に寄与し、聴覚障がいに対する理解と手話の普及を推進するため、手話出前講座の開催や、手話奉仕員養成講座等を実施します。
○	⑤歩道点字シート設置事業	39,500	特定道路重点整備地区のうち、パセオ通りと県庁通りの点字シートを整備します。
◎	⑥バリアフリーマップ 情報更新事業	3,000	誰もが安全で快適に移動できる環境を形成するため、バリアフリー化された施設の情報をわかりやすく提供するバリアフリーマップを更新します。


(5)多文化共生の推進

【単位：千円】



記号	事業名	予算額	説明
	国際交流員の配置	5,162	外国人の視点を取り入れた事業の企画・運営や国際交流活動を通じた国際化の推進を図るため、外国青年を国際交流員として配置します。
	外国人生活相談事業	4,898	外国人の受入環境整備を促進し、多文化共生社会の推進を図るため、R2に開設した外国人生活相談窓口を運営し、多様な相談に対応します。
○	外国の子ども日本語サポート推進事業	2,800	帰国・外国出身児童生徒に対する日本語教育を推進するため、学校生活適応のための日本語サポーター・母語支援員の派遣やその親子を対象とした放課後教室等を実施するほか、市内日本語教室で使用する教材購入費用の一部を補助します。
◎	第73回日米学生会議 開催費補助金	500	日米両国の学生活動を支援することで関係人口や交流人口の拡大を図るとともに、学生を通じて本市の復興の状況や新たなまちづくりに取り組む姿を発信し、風評払拭と都市ブランド力の向上を図るため、国際学生会議「第73回日米学生会議」の開催費用の一部を補助します。

5 豊かな文化芸術の振興と発信

(1) 1 「古閑裕而のまち・ふくしま」の取り組みの推進

記号	事業名	予算額	説明
◎	エールレガシー事業 	42,180	連続テレビ小説「エール」の放送で認知された「古閑裕而のまち福島市」の魅力を継続的に伝えるため、気仙沼市等と連携し、被災3県朝ドラ連携プロジェクトとして首都圏での観光PRと移住促進プロモーションを行うとともに、エールドラマセットの再現展示やロケ地・まち歩きマップの作成により、さらなる誘客を図ります。
○	古閑裕而のまちおもてなし事業	35,364	古閑裕而記念館前に無料休憩所及び物産販売スペースを設置するとともに、街なか交流館の「エール展」等における市民ボランティアの活動を支援し、古閑氏をきっかけに本市を訪れた方へのおもてなしの充実を図ります。
◎	古閑裕而のまち・ふくしまチェンバーオーケストラ創設支援事業	2,500	クラウドファンディングを活用し、本市ゆかりの音楽家による「古閑裕而のまち・ふくしまチェンバーオーケストラ（仮称）」の創設を支援します。
○	「古閑裕而記念音楽祭」の開催 	20,000	「エール」キャストなど豪華ゲストを招いた鑑賞型音楽祭を開催するとともに、屋外における「古閑裕而まちなか音楽祭（仮称）」を開催し、古閑氏と音楽を活かしたまちづくりを推進します。
◎	「古閑裕而ゆかりのまちサミット」の開催	15,000	全国の古閑氏ゆかりの自治体に参加を呼びかけ、「古閑裕而ゆかりのまちサミット」を本市で開催し、古閑氏の功績や音楽を活かした新たなまちづくり交流への取組を進めます。
◎	古閑裕而音楽コンクール創設事業	269	古閑氏が生まれ育ったまちとして、その名を冠した本市独自の音楽コンクール創設に向け、有識者等による準備委員会を立ち上げます。
	古閑裕而メロディーバス運行事業	18,963	メロディーバスの運行により、市内循環バスの機能を活用した古閑裕而のPR及び観光客のおもてなしを行います。

(2) 福島らしい文化芸術の振興と継承

記号	事業名	予算額	説明
◎	福島市文化振興条例策定事業	500	市民との共創による「福島市文化振興条例」の策定を進めるため、有識者による検討委員会を組織するとともに、パブリックコメント等を実施し、令和3年度中の条例策定を目指します。
◎	「ふくぶん(福島らしい文化)」発信事業	5,000	本市固有の文化や歴史の魅力を「福島らしい文化」として広く発信するため、市内文化施設で様々なユニークメニューを展開するとともに、SNS等を活用した広報戦略により、市民のふるさとへの愛着と誇りを醸成し、次世代へと継承していく取組を進めます。
◎	和台遺跡保存活用計画策定事業	4,080	国指定史跡である和台遺跡の保存活用計画を策定し、公有化と整備の方向性を検討します。
○	しゃがむ土偶ドキドキ事業 	8,647	国重要文化財「しゃがむ土偶」を福島のスターとして広く発信するため、まちかど博物館やドキドキ縄文商店街などのイベントを開催するとともに、動画の制作や販売用商品開発へ向けた支援を行います。
	じょーもびあ宮畑活用推進事業 	10,241	宮畑遺跡の魅力を発信するため、小学生の社会科学習における活用を図るとともに、地域やボランティア団体との共創による多彩なイベントを開催します。
○	民家園管理事業	85,573	指定文化財の文化的価値の維持と利用者の安全確保等を図るため、施設内の古民家等の計画的な点検及び修繕を実施するとともに、オリジナルグッズを作成し、民家園の魅力を市内外へ積極的に発信していきます。
○	旧広瀬座再整備事業	36,586	国指定重要文化財である旧広瀬座の保存と新たな施設利用の拡大を図るため、再整備に向けた実施設計を行います。
◎	写真美術館管理運営事業	49,074	リニューアルオープンする写真美術館（花の写真館）において、オープン記念企画展等の各種事業を実施するとともに、市指定文化財である施設の適正な保護保存と管理を行います。

6 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築

(1)脱炭素社会(温室効果ガス排出量実質ゼロとなる社会)の実現

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
◎	環境に配慮した公用車の配備	8,202	脱炭素社会の実現に率先して取り組むため、電気自動車やハイブリッド車の導入を進めます。
○	脱炭素住宅整備事業	33,400	家庭における再生可能エネルギーの導入を推進するため、太陽光発電システムや蓄電池、電気自動車充電設備(V2H)、ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)の設置費用の一部を助成します。
◎	環境共生都市創出事業	787	新しい環境基本計画等の趣旨や目標を発信するため、講演会等を開催します。
	水素社会実現推進事業	300	水素エネルギーの利活用を推進するため、普及啓発を行います。

(2)循環型社会の構築

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明																								
	ごみ減量化促進対策事業	22,001	ごみ排出量が多い原因を分析し、効果的なごみ減量を図るため、「ごみ減量大作戦 第3次展開」を市民の皆さんと一緒に進めます。																								
○	あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業	114,674	あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備に向け、環境影響評価や発注者支援業務を行います。 (環境影響評価業務) <table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>195,000千円</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>17,550千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>128,700千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>37,050千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>7,800千円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>3,900千円</td> </tr> </table> (発注者支援業務) <table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>52,000千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>10,500千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>25,500千円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>16,000千円</td> </tr> </table>	全体事業費(継続費分)	195,000千円	R元	17,550千円	R2	128,700千円	R3	37,050千円	R4	7,800千円	R5	3,900千円	全体事業費(継続費分)	52,000千円	R3	10,500千円	R4	25,500千円	R5	16,000千円				
全体事業費(継続費分)	195,000千円																										
R元	17,550千円																										
R2	128,700千円																										
R3	37,050千円																										
R4	7,800千円																										
R5	3,900千円																										
全体事業費(継続費分)	52,000千円																										
R3	10,500千円																										
R4	25,500千円																										
R5	16,000千円																										
	新最終処分場整備事業	1,430,961	新最終処分場の年度内完成に向け、本体建設工事や管理棟建設工事等を行います。 (本体建設工事・工事監理業務) <table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>3,877,700千円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>222,567千円</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>808,763千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2,185,596千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>660,774千円</td> </tr> </table> (浸出水処理施設建設工事) <table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>1,335,000千円</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>66,750千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>667,500千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>600,750千円</td> </tr> </table> (管理棟建設工事) <table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>155,000千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31,000千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>124,000千円</td> </tr> </table>	全体事業費(継続費分)	3,877,700千円	H30	222,567千円	R元	808,763千円	R2	2,185,596千円	R3	660,774千円	全体事業費(継続費分)	1,335,000千円	R元	66,750千円	R2	667,500千円	R3	600,750千円	全体事業費(継続費分)	155,000千円	R2	31,000千円	R3	124,000千円
全体事業費(継続費分)	3,877,700千円																										
H30	222,567千円																										
R元	808,763千円																										
R2	2,185,596千円																										
R3	660,774千円																										
全体事業費(継続費分)	1,335,000千円																										
R元	66,750千円																										
R2	667,500千円																										
R3	600,750千円																										
全体事業費(継続費分)	155,000千円																										
R2	31,000千円																										
R3	124,000千円																										

(3)環境の保全

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明								
○	ムクドリ・カラス対策	4,700	中心市街地におけるムクドリのフン害と騒音を減らすため、市民と連携した追い払い等を実施します。 また、カラスによる中心市街地のフン害を減らすため、特殊波動方式の防除装置を設置します。								
◎	衛生処理場整備事業	695,880	衛生処理場の延命化及び処理水の水質改善を図るため、場内施設の改造を行います。 (場内施設改造工事) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>1,071,800千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>695,880千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>366,522千円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>9,398千円</td> </tr> </table>	全体事業費 (継続費分)	1,071,800千円	R3	695,880千円	R4	366,522千円	R5	9,398千円
全体事業費 (継続費分)	1,071,800千円										
R3	695,880千円										
R4	366,522千円										
R5	9,398千円										

7 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現

(1)「人」と「活力」があふれる農業の実現

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	鳥獣被害等対策事業 ①有害鳥獣対策専門職員の配置等	10,523	鳥獣被害に迅速に対応するため、専門知識や狩猟免許を具備した職員を増員します。 (R2：1名 ⇒ R3：2名)
○	②イノシシ捕獲対策事業	27,600	イノシシによる農作物被害の軽減を図るため、捕獲頭数の増加に対応し、補助金を増額します。 (H30：600頭 ⇒ R元：750頭 ⇒ R2：1,000頭 ⇒ R3：1,200頭)
	福島大学食農学類連携事業	2,420	市農産物の特徴を生かした産地ブランド化を図るため、マーケティング調査に地域と大学が連携して取り組むほか、果実の硬度や成分分析調査等を行います。
◎	担い手の確保 ①新規就農拡大推進事業	7,945	農業の担い手を確保するため、兼業就農や親元就農者、農業法人等に就農時初期費用などの一部を助成します。 また、新規就農者に対し指導者となる農業者（メンター）をマッチングします。
◎	②新規就農者オンライン相談事業	416	新規就農希望者の相談体制を強化するため、関係機関や農業者による相談業務をオンラインで実施します。
	農業経営安定化支援事業	4,421	市内農業者の経営リスク軽減を図るため、市内農業者全員を対象を拡大し、加入する収入保険と果樹共済の掛け金の一部を助成します。
○	スイーツ・プレミアム事業	15,000	本市のイメージ向上と地域経済の活性化を図るため、本市農産物等を使用したスイーツを「ふくしまスイーツ・プレミアム」としてブランディングします。

(2)「人」と「活力」があふれる商工業の実現


【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
	食品加工産業創出事業	3,116	本市の農産物を活用した食品加工産業の振興を目指し、民間企業が行う製品開発・販売等にかかる経費を補助します。
◎	ものづくりNEXTチャレンジ支援事業	10,000	市内の中小企業者が既存事業から製造業への業務転換や第二創業を行う場合に係る経費の一部について補助します。
	医産連携推進事業	20,041	市内製造業の医療福祉分野への進出を促進するとともに中小企業者が実施する医療福祉機器の製品化や研究開発の費用の一部を補助します。
○	企業立地促進事業	11,210	首都圏等における企業訪問や各企業展示会への出展、業界紙等への広告掲載、オンライントップセールスにより、東京と西日本の2地域で企業立地セミナーを開催するなど、インベーションコーストの玄関口となる本市の魅力と立地優位性をアピールし、企業立地の促進を図ります。

(2)「人」と「活力」があふれる商工業の実現 ※前頁より続き 【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
	中小企業信用保証料補助	38,500	「中小企業一般融資」及び「県起業家支援保証制度」利用者に信用保証料の一部を補助します。
◎	クリエイティブビジネスサロン整備事業 【3月補正前倒し分】	(73,500)	産業の活性化及び企業移転の促進を図るため、産業交流プラザをリニューアルし、新たなビジネス交流拠点としてコワーキングスペースとサテライトオフィスを整備します。 ※すべて3月補正に前倒しします。
◎	「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業	14,800	首都圏等からの本社オフィス移転や移住・定住を促進するため、オフィス開設等に係る経費の一部を補助するとともに、温泉、農業、果物が満喫できる「ゆとり満喫エールパスポート」を贈呈するほか、立地ビジネスサロンの開催やゆとり満喫動画を制作します。

(3)就労支援と雇用の創出 【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	若年者就職支援事業 	6,215	高校生を対象とした就職支援事業や、新規学卒者を対象とした合同企業説明会を開催します。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う新しい生活様式に対応したオンライン合同企業説明会を開催します。
◎	就労準備支援事業	435	直ちに就労が困難な方の自立を支援するため、一般就労へ向けた基礎的能力を養う支援を行います。

(4)産業の基盤となる道路交通ネットワークの整備 【単位：千円】


記号	事業名	予算額	説明
	曾根田町桜木町線 (宮下町工区)	95,700	県庁通りから国道13号までの区間(長さ346m)の用地補償等を行います。
	北沢又丸子線 (3工区)	100,000	福島西道路から飯坂街道までの残り区間(長さ270m)の用地補償等を行います。

8 「福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり」


(1)福島駅前再開発と交流・集客拠点施設整備の推進 【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	福島駅東口地区市街地再開発事業	2,204,900	中心市街地の活性化を図るため、県都ふくしまの顔、活性化の核となる福島駅東口周辺の再開発事業を官民連携で行います。
○	福島駅前交流・集客拠点施設整備事業	20,259	交流人口の拡大と中心市街地の賑わい創出を図るため、福島駅東口地区市街地再開発事業と連携し、施設の建築設計を進めるとともに、管理運営方法の検討を行います。

(2)街なかの魅力と回遊性の向上

記号	事業名	予算額	説明
○	新まちなか広場整備事業 	465,621	中心市街地の賑わい・市民交流・回遊軸の拠点、さらには防災広場として、R3年度末の完成を目指し、新まちなか広場の整備を進めます。 また、パセオ自転車駐車場内に公衆トイレと倉庫を新たに整備し、リニューアルします。
◎	福島駅周辺利便性向上検討事業	5,000	中心市街地の回遊性の向上と賑わいの創出のため、福島駅周辺の公共交通、歩行者等の通行体系の在り方についての検討を行います。



(3)福島らしさがあふれる観光の振興

記号	事業名	予算額	説明
○	ふくしま花回廊推進事業 	10,850	花観光による来訪者の増加及び花観光スポットの魅力向上を図るため、駅周辺の飲食店等と連携した消費促進キャンペーンを実施するとともに、誘客拡大に向けた取り組みを行います。
	春の花見山おもてなし事業	60,213	花見山来訪者のおもてなしのため、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、シャトルバスの運行や出店環境の整備等を実施します。
◎	アフターコロナ訪日観光客受入環境整備事業	9,000	アフターコロナを見据え、インバウンドを意識した事業所の受入体制整備を推進するとともに、本市の観光コンテンツである花を核としたプロモーション動画による情報発信を行います。
◎	地域産業を活用した観光コンテンツ開発事業	15,000	本市の現状と本市製品の安全性を周知するため、地域産業を活用した新しい観光コンテンツの開発により事業の多角化に取り組む実行委員会等の活動費用の一部を補助します。

(4)個性ある地域づくりの推進

記号	事業名	予算額	説明
	地域コミュニティ等支援事業	16,500	地域の新たな魅力や価値の創出や、市民活動の活性化、地域活力の向上を図るため、地域ごとの主体的な取り組みにかかる経費の一部を補助します。

(5)スポーツのまちづくり

記号	事業名	予算額	説明								
○	東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業 	159,545	野球・ソフトボール競技開催へ向けた準備を進めるとともに、合宿の支援、ホストタウン交流等を実施するほか、共生社会ホストタウンサミットを開催し、共生社会の実現に取り組むなど、大会後のレガシーにつなげていきます。 また、大会開催期間中には、コミュニティライブサイトやパブリックビューイングの運営、福島駅周辺でのおもてなしイベントの開催等により、復興支援への感謝と復興に取り組む本市の姿や魅力を発信します。								
◎	ふくしまアプリウォーク開催事業	1,263	コロナ禍においても、スポーツを気軽に楽しめる機会を提供し、健康の増進を図るため、スマートフォンアプリを活用した本市独自のウォーキング大会を開催します。								
◎	ふくしま健康マラソン大会リニューアル事業	1,300	市内外から人を呼べる「県都ふくしま」を象徴するマラソン大会とするため、大会のリニューアルに取り組めます。								
○	中央市民プール整備事業 	347,670	老朽化等により部分開放となっていた中央市民プールのリニューアルオープン（R4）に向け、物品の購入及び施設の改修工事を実施します。 <table border="1" data-bbox="702 1489 1117 1646"> <thead> <tr> <th colspan="2">全体事業費（継続費分）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元</td> <td>272,600千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>441,130千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>270,270千円</td> </tr> </tbody> </table>	全体事業費（継続費分）		R元	272,600千円	R2	441,130千円	R3	270,270千円
全体事業費（継続費分）											
R元	272,600千円										
R2	441,130千円										
R3	270,270千円										
○	信夫ヶ丘競技場整備事業	97,386	陸上競技の競技力向上やスポーツの振興を図るため、第3種陸上競技場としての公認更新に必要な改修・整備を実施します。 また、「指定緊急避難場所」である同施設について、地震に対する安全性の向上を図るため、耐震補強工事設計を実施します。								
◎	あづま陸上競技場魅力創出事業 【3月補正前倒し分】	— (650,000)	スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化を推進するため、県と市が共同して、照明設備を新設します。 ※すべて3月補正に前倒しします。								

9 移住定住に向けた支援・受入態勢の強化

(1) 移住・定住に向けた支援・受入体制の強化推進

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	広報推進事業	5,000	移住希望者に対する情報発信を強化するため、ポータルサイトの充実を図るほか、移住関連情報を幅広く収載する全国誌へ本市の魅力に掲載します。
○	新生活応援事業	5,947	移住希望者のライフスタイルに沿った移住・定住を支援するため、移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行います。また、特定の事業を活用した移住者へは、特典として温泉パスポートを贈呈します。
	UIターン移住支援事業	12,900	移住・定住の促進及び中小企業等における人材不足の解消を図るため、東京23区の在住者等が本市へ転入し、県のマッチングサイトに掲載の中小企業へ就職した場合等に、補助金を交付します。
○	空家等対策事業	21,819	本市の空き家対策の基本指針となる空家等対策計画を改定し、空き家の発生予防のための普及啓発や管理不全空き家に係る指導を行うほか、空き家バンクをリニューアルし、空き家の利活用を推進します。



10 市民総活躍と市民共創のまちづくり

(1) 女性が活躍できる地域社会の形成

記号	事業名	予算額	説明
◎	女性の起業チャレンジ応援事業	400	女性が活躍する場のさらなる拡大を図るため、起業にチャレンジしたい女性を対象とした講座を開催します。


(2) 共創によるまちづくりの推進

記号	事業名	予算額	説明						
◎	共創のまちづくりの推進	2,039	市民との共創による新たなまちの魅力や地域の価値の創出のため、共創のまちづくりの普及啓発に取り組むとともに、「ふくしま共創のまちづくり計画」を推進するため、モデル事業を実施します。						
◎	二十歳のチャレンジプロジェクト事業	2,021	令和3年福島市成人式がオンライン開催になったことを受け、あらためて新成人が一堂に集える機会の創出を支援します。 ふるさと福島への関心を強くするきっかけとなるよう、新成人で構成した実行委員会主導による企画・運営等を市がサポートします。						
○	公共施設等総合管理計画の推進								
○	①(仮称)市民センター整備事業	214,000	老朽化した中央学習センター、敬老センター、市民会館一部の機能を統合・複合化し、市民交流機能、議会機能、防災機能を有する「(仮称)市民センター」の整備を進めます。 R3は、実施設計を行います。						
○	②清水支所建設事業	179,700	施設の改善と市民福祉の向上、災害時の安心・安全の確保のため、老朽化した支所庁舎の更新を進めます。 R3は、基本・実施設計、用地取得、補償等を行います。						
○	③飯野支所庁舎複合化整備事業	277,900	施設の改善と市民福祉の向上、維持管理の効率化を図るため、学習センターとの複合化を行います。 R3は、建築工事、設備工事等を行います。						
			<table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>560,000千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>277,900千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>282,100千円</td> </tr> </table>	全体事業費(継続費分)	560,000千円	R3	277,900千円	R4	282,100千円
全体事業費(継続費分)	560,000千円								
R3	277,900千円								
R4	282,100千円								
○	④三河台学習センター整備事業	330,045	地域の生涯学習環境を充実させるため、コミュニティ活動と生涯学習の拠点となる三河台学習センターを整備します。 R3は、建築工事に着手します。						
			<table border="1"> <tr> <td>全体事業費(継続費分)</td> <td>560,000千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>280,000千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>280,000千円</td> </tr> </table>	全体事業費(継続費分)	560,000千円	R3	280,000千円	R4	280,000千円
全体事業費(継続費分)	560,000千円								
R3	280,000千円								
R4	280,000千円								

11 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上

(1) 新たな施策への挑戦と発信


【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	ふるさと納税促進事業 	432,286	各種施策を実施する財源を確保するため、賛同と共感を得ながらふるさと納税による本市への寄附を促進し、寄附額10億円を目指します。
○	シティセールス推進事業	9,000	本市のファンづくりと認知度向上を図るため、地元生産者等にスポットを当てたシティセールスムービー等のコンテンツを作成します。
◎	オンライン配信ビジネス支援事業	5,000	ポストコロナ時代を見据え、学会やコンベンション等のオンライン配信の利用拡大を図るため、開催・動画作成費用等の一部を補助します。


12 ICTを活用した行政・経済・社会の変革

(1) ICTを活用した行政の変革

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
◎	オンライン会議の運用	1,544	新しい生活様式への対応と業務効率の向上を図るため、本市が行う会議をオンラインで開催するために必要となる機器等を導入します。
○	RPA推進事業	10,000	業務効率の向上を図るため、パソコン上の事務処理を自動的に行うプログラムの導入対象事業を拡充します。
	AI-OCR推進事業	2,079	業務効率の向上を図るため、紙媒体の帳票に書かれた文字を読み取ってデータ化するシステムを運用します。
○	LINE推進事業 	4,378	LINEを活用し、個人の属性や興味に応じた情報配信、位置情報付き市民通報システムの運用、各種手続きのオンライン申請への案内を実施します。
	次期基幹システムの構築	285,439	住民記録や税、国民健康保険等、市の業務の基幹となる情報を管理するシステムの更新を行います。
◎	文書管理システム導入事業	48,800	行政事務の効率化とペーパーレス化を推進するため、文書管理システムを導入し、文書のデータ化、電子決裁、文書のデータ保存管理を行います。

(2) ICTを活用した経済・社会の変革

記号	事業名	予算額	説明
◎	公共施設予約システムの導入	78,409	市民サービスの向上、新型コロナウイルス感染リスクの軽減及び業務の効率化を図るため、キャッシュレス決済を含む公共施設の予約システムをスポーツ施設や文化施設等へ導入します。
◎	町内会区域GIS作成事業	2,900	市民サービスの向上を図るため、町内会の区域図を市のGISに搭載して公開します。
◎	電子町内会モデル事業	600	町内会におけるICTの活用やスピーディーな情報伝達を推進するため、モデル事業に取り組む町内会に対する経費の支援や、ICTアドバイザーの派遣を行います。
	市税収納のキャッシュレス化(スマホ決済)	427	納税者の利便性の向上と収入率の向上に努めるため、スマホ決済によりキャッシュレス化を推進します。
◎	窓口キャッシュレス決済事業	3,804	市民サービスの向上及び新型コロナウイルスの感染リスク軽減を図るため、窓口手数料のキャッシュレス決済を促進します。
○	個人番号カード交付事業 	99,057	マイナンバーカード取得率向上を図るため、カンタン申請窓口対応支所数の増加等、申請受付や交付事務に係る体制強化を行います。 (R2：本庁、9支所 ⇒ R3：本庁、13支所)
◎	ヘルシーランド福島キャッシュレス対応券売機導入	4,720	新型コロナウイルスの感染リスク軽減を図るため、ヘルシーランド福島にキャッシュレス対応券売機を導入します。
◎	学習センターオンライン環境整備事業	1,200	新しい生活様式を見据えたオンライン学習などの事業展開を図るため、インターネット活用ができる環境を整備します。

○ 議 会

1 議員数

- ① 条例定数 35人
- ② 福島市議会議員定数条例（平成14年条例第15号）
- ③ 平成27年7月12日の一般選挙から施行



2 構成

(1) 会派別 (令和3年4月1日現在)

会 派 名	会派呼称	人 数
真結の会	真結の会	9人
真政会	真政会	9人
ふくしま市民21	市民21	6人
公明党福島市議団	公明党	4人
日本共産党福島市議会議員団	日本共産党	4人
耀ふくしま市議団	耀ふくしま	3人
合 計		35人

(2) 年齢別・当選期数別 (令和3年4月1日現在)

年齢 期数	25～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	計
1期	-	-	2人	1人	2人	-	5人
2期	-	-	3人	1人	3人	-	7人
3期	-	-	1人	1人	3人	-	5人
4期	-	-	1人	5人	3人	1人	10人
5期	-	-	-	1人	3人	1人	5人
6期	-	-	-	-	1人	1人	2人
8期	-	-	-	-	-	1人	1人
計	0人	0人	7人	9人	15人	4人	35人

平均年齢
(58.7歳)

3 常任委員会

(令和3年4月1日現在)

名 称	定数	現員	所 管 事 項
総 務	9人	9人	議会、市長直轄組織、政策調整部、総務部、財務部、会計課、消防本部、監査委員、選挙管理委員会及び公平委員会の所管に属する事務並びに他の所管に属しない事務
文 教 福 祉	9人	9人	教育委員会、健康福祉部及びこども未来部の所管に属する事務
経 済 民 生	9人	8人	商工観光部、農政部、農業委員会及び市民・文化スポーツ部の所管に属する事務
建 設 水 道	8人	8人	環境部、建設部、都市政策部及び水道局の所管に属する事務

※議長は委員会所属を辞退

4 議会運営委員会

(条例化 平成3年6月21日)

- ① 委員定数 11人
- ② 議会運営の円滑を図るため設置する
- ③ 構成員が3人以上の会派の構成員数により案分し選出



5 特別委員会

(令和3年4月1日現在)

名称	設置目的	構成員
新庁舎西棟建設調査特別委員会	風格ある県都を目指すまちづくり構想における福島市役所新庁舎西棟の建設にかかる調査を行うため。	11人

6 地方自治法第100条第12項に基づき設置される協議・調整の場

(令和3年4月1日現在)

名称	設置目的	構成員
福島市議会全員協議会	福島市議会基本条例第12条の規定に基づき、同条例第19条第2項の規定により重要な政策等に関する事項について協議又は調整を行うため。	全議員
福島市議会委員協議会	福島市議会基本条例第12条の規定に基づき、各常任委員会及び特別委員会の所管事項に関する事項について協議又は調整を行うため。	常任委員会及び特別委員会に属する委員
代表者会	福島市議会基本条例第13条第6項の規定に基づき、会派、議員の身分、各種委員に関する事その他必要と認める事項について協議又は調整を行うため。	議長、副議長及び会派代表者
福島市議会政務活動費検討会	政務活動費に関する協議又は調整を行うため。	各会派から選出された議員
福島市議会広報委員会	福島市議会基本条例第16条第7項の規定に基づき、議会広報紙等の充実、市民との情報共有の推進等の充実に関する事項について協議又は調整を行うため。	各会派から選出された議員
福島市議会政策討論会	福島市議会基本条例第23条の規定に基づき、市政に関する重要な政策及び課題に関する協議又は調整を行うため。	全議員
福島市議会改革検討会	福島市議会基本条例第25条第1項の規定に基づき、議会改革に関する協議又は調整を行うため。	各会派から選出された議員
福島市ICT活用検討会	タブレット端末の活用及びペーパーレス化の推進に関する協議又は調整を行うため	各会派から選出された議員

7 予算・決算・補正予算の審査方法

- (1) 予算 ※3月定例会議において、新年度の当初予算審査
 - ① 議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、議案付託を行っている
 - ② 常任委員会を単位とする分科会を設置し、議案付託を行っている
 - ③ 原則、分科会にて審査後、特別委員会にて自由討議、討論を経て採決を行っている
- (2) 決算 ※9月定例会議において、前年度の決算審査
 - ① 議長及び監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、議案付託を行っている
 - ②及び③については、予算と同様
- (3) 補正予算

9月、12月、翌年3月、6月定例会議及び緊急会議において、歳入歳出とも各常任委員会へ分割付託を行っている

8 質 疑 ・ 質 問

- ① 代表質問は総括質問方式(一括質問・一括答弁)で行っている
- ② 一般質問は一問一答方式(質問ごとに答弁)で行っている
- ③ 本市では質問に含めて、議案質疑も行われる
(先議議案及び追加議案は議案質疑として行われる)



- (1) 質問通告期限 定例会議初日の翌日午前11時まで
- (2) 質問順序 代表質問(各会派1名) 多数会派順(所属議員同数の場合は輪番)
一般質問(無制限) 抽 選
- (3) 質問回数及び時間制限
 - 代表質問(総括質問方式)
 - ・3月定例会議 60分以内(答弁を除く)
 - ・市長・議員改選後初定例会議 30分以内(答弁を除く)
(再質問、再々質問はいずれも答弁時間を除き10分以内)
 - 一般質問(一問一答方式) 60分以内(答弁時間を含む)
(関連質問は答弁時間も含め10分以内)

9 議 会 開 催 状 況

【令和2年1月1日～令和2年12月31日】

区 分	会 議 期 間 (日)	本 会 議 日 数	提 出 議 案 数						質 問 者 数			
			市 長	議 会 (議 員 、 委 員 会)				計	代 表	一 般	そ の 他	計
				条 例	意 見 書	決 議	そ の 他					
3月定例会議	24	7	56	1	3	-	-	60	6	11	-	17
6月定例会議	12	4	29	1	2	-	-	32	-	9	-	9
9月定例会議	18	5	29	2	2	-	-	33	-	14	-	14
12月定例会議	16	6	33	-	-	-	-	33	-	16	-	16
4月緊急会議	1	1	5	-	-	-	-	5	-	-	-	0
6月緊急会議	1	1	2	-	-	-	-	2	-	-	-	0
7月緊急会議	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	0
10月緊急会議	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	0
合 計	74	26	156	4	7	0	0	167	6	50	0	56

10 報 酬

【単位：円】

区 分	報 酬 額	改 定 前 の 額	改 定 年 月 日	区 分	報 酬 額	改 定 前 の 額	改 定 年 月 日
議 長	682,000	703,000	平成22年 4月1日	市 長	1,047,600	995,300	平成31年 4月1日
副 議 長	635,900	655,500		副 市 長	865,700	839,800	
議 員	599,000	617,500		水 道 事 業 管 理 者	783,300	767,700	
			教 育 長	783,300	767,700		
			常 勤 監 査 委 員	654,300	641,300		

11 政 務 活 動 費

(平成13年4月1日施行)

会派（議長が別に定める政務活動費請求会派を含む）に対し、所属議員数×月額10万円

12 行 政 視 察 旅 費

- (1) 常 任 委 員 会 1人年額 200,000円 (平成12年4月1日改定)
- (2) 議 会 運 営 委 員 会 1人年額 170,000円 (平成4年4月1日改定)
- (3) 特 別 委 員 会 1人年額 120,000円 (昭和63年4月1日改定)
(決算特別委員会については視察旅費はない)

13 費 用 弁 償 等

(平成17年4月1日改定)

本会議または委員会の招集に応じた議員の居住地から議事堂までの距離により支給
4km未満 1,000円、4km以上8km未満 1,500円、8km以上 2,000円
※公用車を使用した場合には支給しない

14 福 島 市 議 会 基 本 条 例

(平成26年4月1日施行)

【制定までの経過】

平成24年6月22日	議会基本条例策定特別委員会を設置(委員数17人) (以降、平成26年2月26日まで合計31回特別委員会を開催)
平成25年11月1日～12月2日	福島市議会基本条例(素案)に関するパブリック・コメントを実施
平成25年11月10日	福島市議会基本条例(素案)に関する市民報告会を実施
平成26年3月27日	福島市議会基本条例を平成26年福島市議会3月定例会に上程、可決
平成26年4月1日	福島市議会基本条例施行

【基本方針の三本柱】

「市民に開かれた議会」

市民が積極的に議会に参加するためには、議会活動の公開が前提となることから、公平性、公正性及び透明性を高めるとともに、議会活動への市民参加の機会を多様に市民に開かれた議会の実現を目指します。

「議員間の自由闊達な議論、討議を行う議会」

二元代表制の下、合議制の機関としての特性を生かし、議員間の自由闊達な議論及び討議を行うことにより、多様な意見の中から市政の課題に対する論点及び争点を明確にし、合意形成を図る議会の実現を目指します。

「政策立案や政策提言を積極的に行う議会」

市長その他の執行機関との緊張ある関係を保ちながら、議会の体制の充実及び立法機能の強化を図り、政策立案及び政策提言を積極的に行い、市民の意思を的確に市政に反映させる議会の実現を目指します。



【新たな取り組み】

「通年議会（通年会期）」

福島市議会の会期は通年とし、8月1日から翌年の7月31日までです。「福島市議会の会期等に関する条例」の制定については、平成26年6月定例会において可決し、平成26年8月1日から施行しました。

※通年の会期とは、定例会や臨時会の区分を設けず、毎年、通年とするための「福島市議会の会期等に関する条例」で定める日から翌年の当該日の前日まで（1年間）を会期とするものです。

「災害対応」

東日本大震災の被災地としての経験・教訓を踏まえ、大規模災害時において、被災市民の救援と災害復旧のために、非常事態に即応した議会の活動方針について定めます。

「会議の公開と傍聴手続きの簡素化」

議会の情報を公開し、市民との情報共有を図るとともに、透明性の確保等の観点から、秘密会とする場合などを除き、本会議や常任委員会、特別委員会を原則として公開で行うとともに 傍聴手続の簡素化に努めます。

「情報の共有と公開」

開かれた議会を目指すため、市民との情報の共有及び積極的な情報公開に努めます。

「議会報告会の開催」

市民との信頼関係を確保するため、市民への説明責任を果たし、議会活動や市政に関する情報を市民と共有することが必要のため、議会は、自らが地域に出向き、直接市民に対し、議会で行われた議案等の審査における議論の経過や審査結果等の内容について報告する議会報告会を開催します。なお、議会報告会は、決算を審議する定例会議の終了後及び当初予算を審議する定例会議の終了後に開催する予定です。

「意見交換会の開催」

福島市議会では、より市民に開かれた議会を目指して、市民との意見交換会を開催しており、委員会が具体的なテーマを設けて実施する方式と議会報告会と併せて自由なテーマで実施する方式の2通りの方式にて実施しています。

「反問権」

本会議や委員会において論点を明確にして議論を深める目的で、市長等が議員の質問の趣旨を確認するための反問ができるようになります。

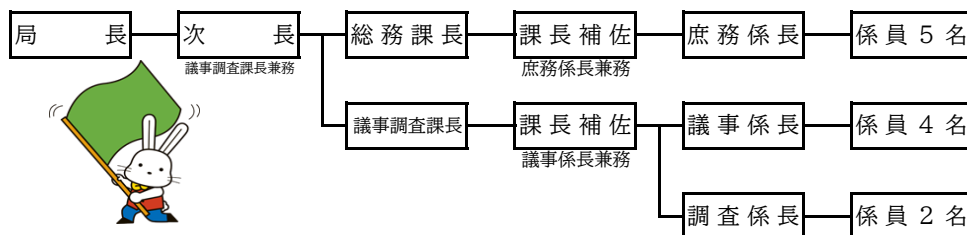
反問には議員の考え方を問い返したり、対案の提示を求める反論も含まれます。

「市民参加の推進」

市民との意見交換や意見聴取の場を多様に設けるとともに、広く市民の意見及び知見を審議等に反映させるため、公聴会制度及び参考人制度の積極的な活用にも努めます。

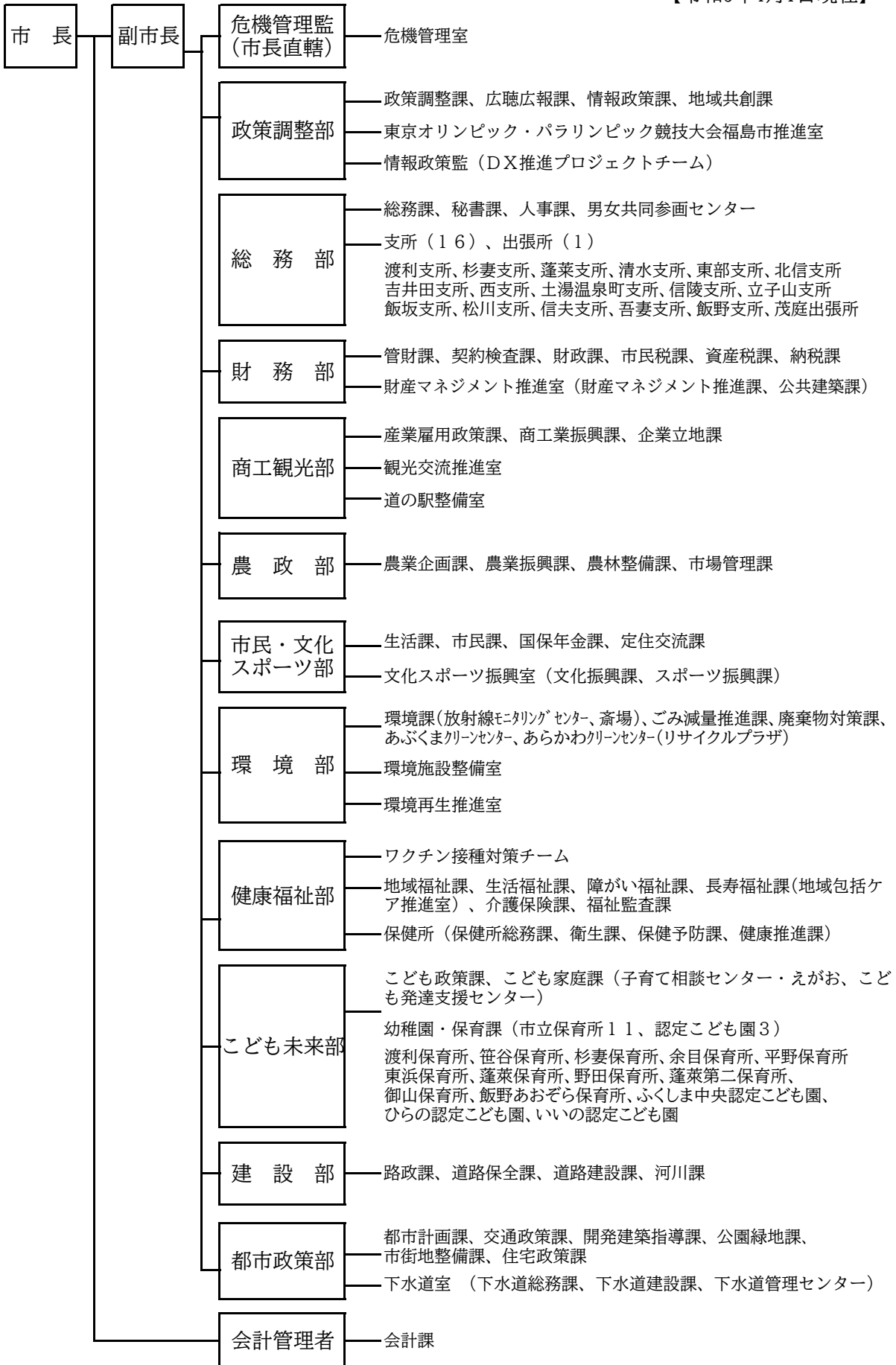
15 議会事務局組織

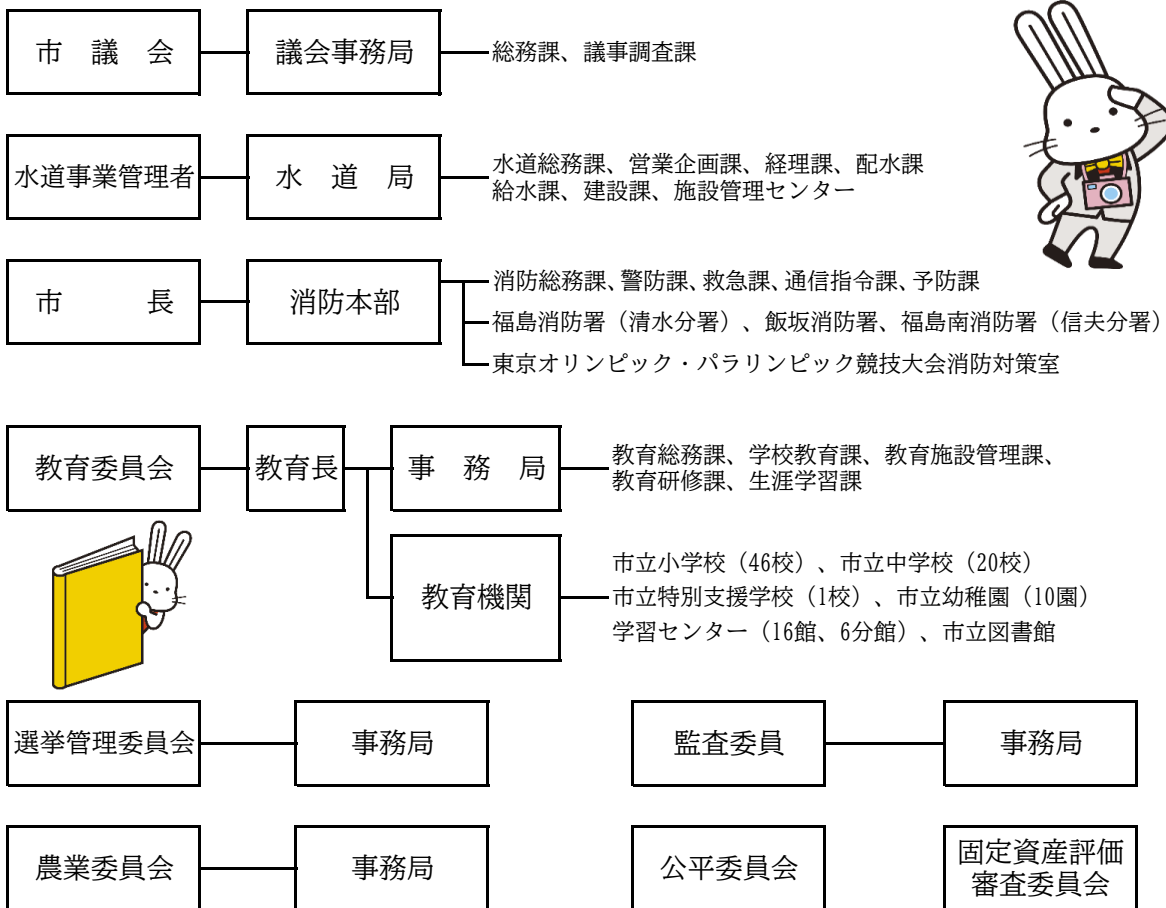
(定数18名 現員17名)



福島市組織機構図

【令和3年4月1日現在】



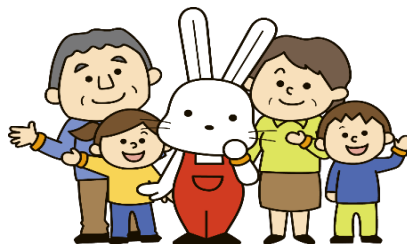


<市の職員数>

【令和2年10月1日現在】

区 分	定数	現員数	区 分	定数	現員数
市長部局	1,498人	1,484人	農業委員会	20人	13人
議会事務局	18人	17人	消 防	290人	(注) 279人
教育委員会	459人	285人	水 道 局	233人	93人
選挙管理委員会	8人	7人	公 平 委 員 会	2人	(2) 人
監査委員事務局	8人	7人	合 計	2,536人	2,185人

(注) このうち地方自治法による派遣職員(1名)及び初任教育中の職員(12名)は定数外である。
また、教育長は職員数より除き、カッコ内の人数は併任となっている。



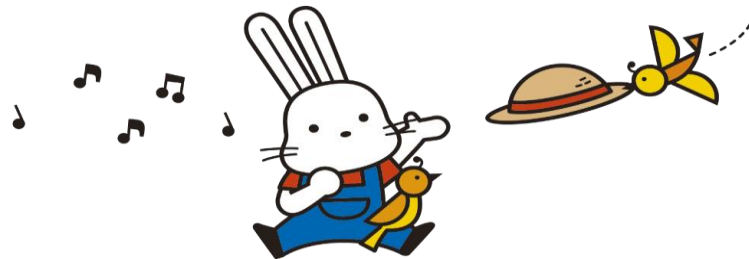
行政視察対応一覧 (令和2年度)



No.	月日	来訪市町村議会	議員	書記	当局	計	調査事項
1	8/11	伊達郡川俣町 其他	1	0	0	1	高齢者対策とごみ収集について
2	11/5	兵庫県姫路市 会派	2	0	0	2	議会改革(通年議会)について
3	11/11	沖縄県沖縄市 会派	4	0	0	4	地域振興施設「道の駅」整備事業について
合計			7	0	0	7	委員会 0件 ・ 会派 2件 ・ その他 1件

意見書・決議一覧 (令和2年1月1日～令和2年12月31日)

議決議会	意見書等名
3月定例会議	新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び支援を求める意見書
	福島の復興・創生に対する中長期的支援を求める意見書
	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書
6月定例会議	地方財政の充実・強化を求める意見書
	被災児童生徒就学支援等事業の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書
9月定例会議	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
	東京電力福島第一原子力発電所構内保管の多核種除去設備等処理水の処分に関する意見書



福島市民憲章

わたくしたちは、みどりにつつまれた信夫山と清い流れの阿武隈川をもつ福島市民です。

福島市は、地味豊かなしのぶの里に古くから開けた人情の美しい町です。

わたくしたちは、平和で、さらに住みよく希望にみちたまちをつくるためこの市民憲章をさだめます。

- 1 空も水もきれいな 緑のまちをつくりましょう。
- 1 教育と文化を尊び 希望に輝くまちをつくりましょう。
- 1 親切で愛情あふれるまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、力を合わせて 楽しく働けるまちをつくりましょう。
- 1 子どもからおとしよりまで安全で健康なまちをつくりましょう。